

読書感

人生における悲劇は目標を達成しなかった事にあるのではなく、それは人生に夢（目標）をもたなかったことにある（ベンジャミン・メイズ）。

潮目の変わるとき、恐怖と不安に打ち勝つ唯一の策は理想と目標を持つことであり、ビジョンとは期限付きの夢である。一人で見える夢はただの夢だが、仲間と見る夢は“現実”になる。“やらない理由”にモチベーションを持ち出すなんてとんでもない。まずはシュートを打て、結果＝現実を知る。本気で働けない人間は仕事を“オス”ようになる。“オス”とは“時間で働く”・・・“時給で働く”ことである。本気で働くと“夢中”という最高のエネルギーを持つスイッチが入る。

組織とは“人の強みにスポットを当てる”ことによって力を出す。個人の欠点を全体でカバーする、フォローするには“ほうれんそう＝報告、連絡相談が有効である。組織を足し算だけで考えない。組織とは、足し算に組織力(企業文化)というチームの温度をかけたものである。理想的な組織とは、“リーダー不在でも、いつもの様に業務が遂行される”ということである。しかし組織に気合も根性もいない。皆様にはパール・バックが述べているように“仕事をする喜びを見つける秘策は、ただひとつの素敵な言葉“楽しみながらやれる”人に、仕事場には色々な人がいるが地頭が良くて、仕事と人間関係をがっちり掴める、どこでも通用する人になってほしい”

ちなみに“相手は自分と全く別人である”“チームメイトがあなたに何をしてくれるかを問うのではなく、あなたがチームメイトに何ができるかを問う（マジック・ジョンソン）。

いかがでしょうか。以上は“部下の本気に火をつけなさい～村上力～からの感想です。

2008.6.20

理事長 市丸 喜一郎